

平成29年度
日本短角種の経営に関する調査報告書
【要約版】

平成30年3月

alic 独立行政法人農畜産業振興機構

【要約版】

1 子牛生産費

①子牛生産費

日本短角種の子牛1頭当たり生産費は、305,172円で前年度並みとなっている。構成比は、飼料費15.2%、労働費34.2%、減価償却費17.1%、放牧預託費(種付費含む)11.3%、獣医師料及び医薬品費1.3%、その他20.9%である(図1、表1)。

また、子牛の生産費は、飼養規模が大きくなるほど減少する傾向がみられた(図2、表1)。

図1 日本短角種の子牛生産費(1頭当たり)

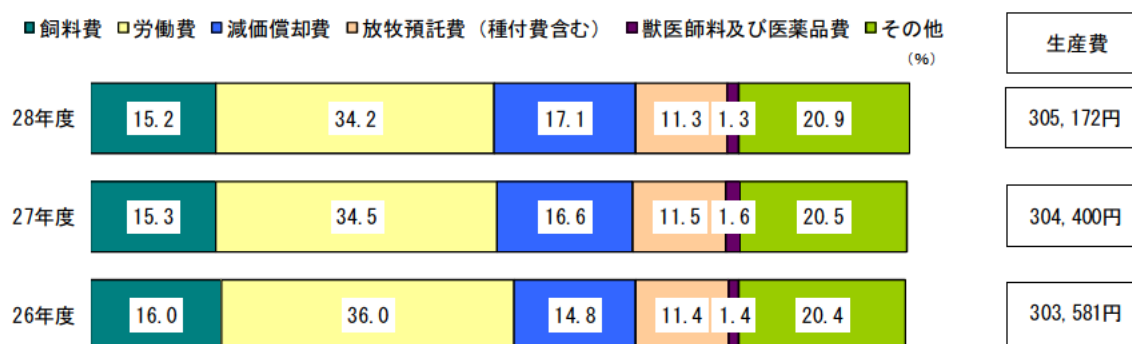


表1 日本短角種の子牛生産費(1頭当たり)

(円)

年度別	経営体数	生産費	飼料費		労働費	減価償却費		放牧預託費(種付費含む)	獣医師料及び医薬品費	その他		
			購入	自給		繁殖雌牛						
28年度	26	305,172	46,427	32,271	14,156	104,265	52,221	23,785	34,362	4,060	63,838	
	うち、岩手県	23	301,387	45,870	32,170	13,700	101,618	51,645	23,435	34,081	4,071	64,101
27年度	24	304,400	46,544	32,914	13,630	105,028	50,532	24,854	34,889	5,013	62,393	
	うち、岩手県	21	299,658	45,409	32,451	12,959	101,668	50,104	24,569	34,776	5,096	62,604
26年度	24	303,581	48,565	33,250	15,315	109,388	45,032	19,081	34,721	4,104	61,770	
	うち、岩手県	21	298,890	47,651	32,871	14,780	105,770	44,856	19,257	34,846	4,079	61,688
飼養規模別	1~4頭	5	424,533	56,196	35,584	20,613	197,274	90,832	33,633	23,785	5,961	50,486
	5~9頭	10	408,015	53,671	32,379	21,292	181,672	60,658	26,338	41,839	5,611	64,564
	10頭以上	11	284,611	45,275	32,555	12,720	86,782	49,450	23,159	34,037	3,736	65,330

注1: 飼養規模は繁殖雌牛の飼養頭数による。

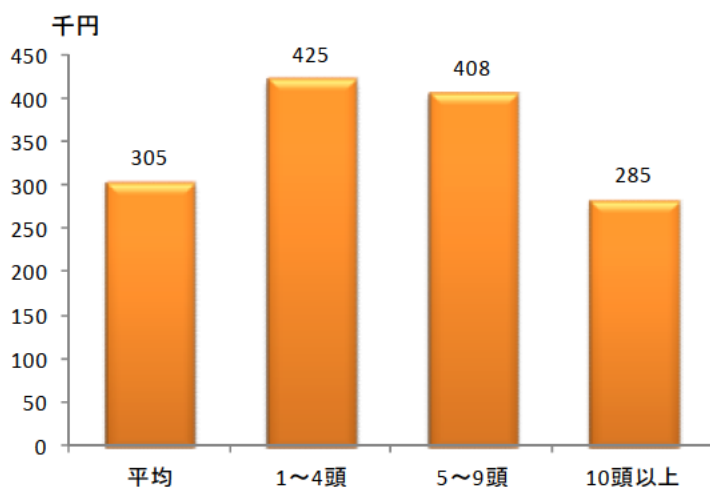
注2: 生産費は、支払利子及び支払地代を含み、副産物価額を差引く。

注3: 飼料費には配合飼料価格安定制度の補填金は含まない。

注4: 経営体数は繁殖経営20戸と一貫経営の繁殖部門6戸の計26戸とした。

注5: その他は光熱動力費、その他諸材料費、賃借料及び料金、物件税及び公課諸負担、小農機具費、生産管理費、修繕費、支払利子、支払地代、副産物価額。

図2 日本短角種の規模別にみた子牛生産費（1頭当たり）



② 1頭当たり所得

ここでは、平成28年度子牛生産費及び子牛販売価格から1頭当たり所得を算出した。

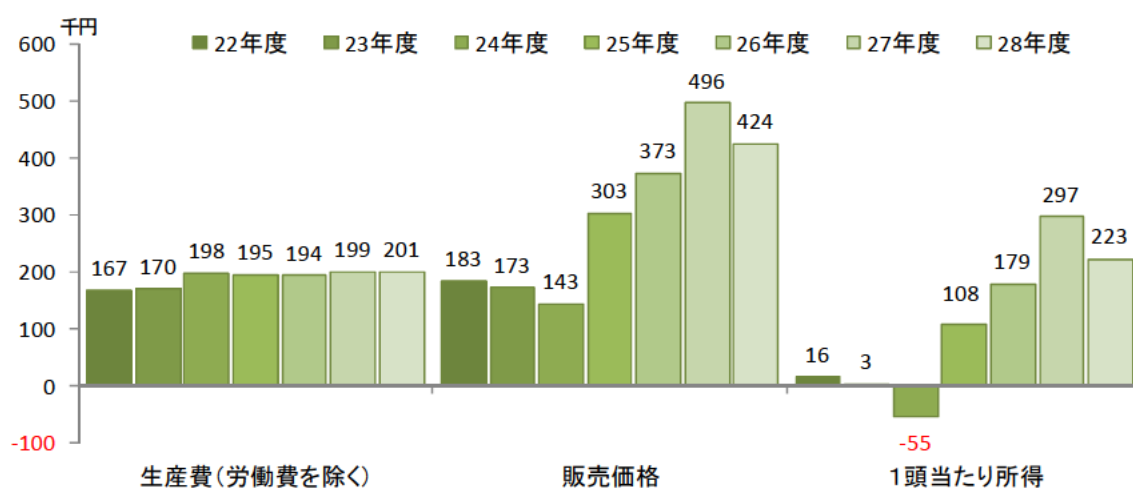
1頭当たり所得は、222,922円（前年度296,679円）と前年度と比べて減少した。これは、子牛販売価格が前年度から低下したためである。

過去の推移をみると、生産費は概ね横ばいの中で、子牛販売価格の変動が収益性に影響を及ぼしている（図3）。

平成28年度の1頭当たり所得は、222,922円＝423,829円－（305,172円－104,265円）

注：1頭当たり所得は、粗収益（子牛販売価格）－（生産費－労働費）により算出

図3 子牛の生産費、販売価格の推移



2 肥育牛生産費

① 肥育牛生産費

日本短角種の肥育牛1頭当たり生産費は、912,179円で対前年度比▲4.6%とやや減少した。前年度と比べて、特にもと畜費の減少が顕著であった。生産費の内訳は、飼料費27.5%、もと畜費39.6%、労働費13.3%、減価償却費4.6%、その他15.0%である（図4、表2）。

また、肥育の生産費は、経営規模が大きくなるほど減少する傾向がみられた（図5、表2）。

図4 日本短角種の肥育牛生産費（1頭当たり）

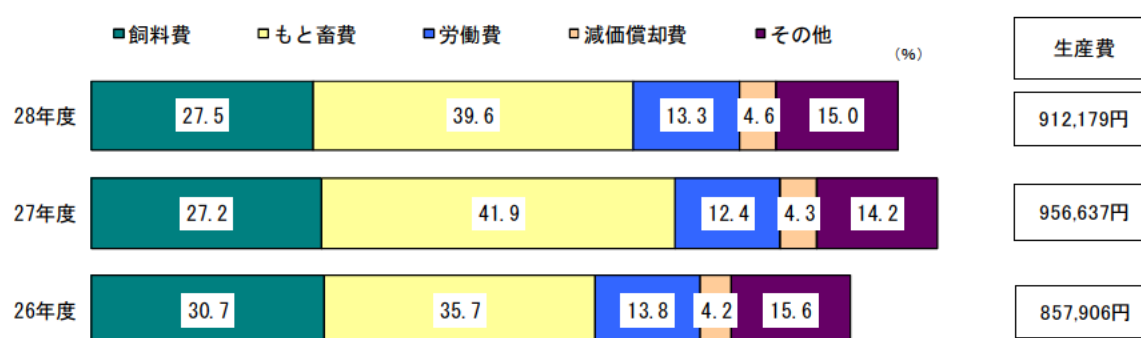


表2 日本短角種の肥育牛1頭当たり生産費

(円)

	経営 体数	生産費	飼料費		もと畜費	労働費	減価 償却費	その他		
			購入	自給						
年度別	28年度	24	912,179	250,859	226,513	24,346	361,345	120,889	42,019	137,067
	うち、岩手県	19	974,640	249,678	220,533	29,146	399,099	130,455	46,223	149,185
	27年度	27	956,637	260,115	236,827	23,288	400,658	119,060	40,966	135,839
	うち、岩手県	21	989,505	246,648	221,115	25,533	432,220	126,230	43,595	140,812
	26年度	27	857,906	263,504	242,484	21,020	306,561	118,115	35,699	134,026
	うち、岩手県	22	880,695	248,853	229,072	19,781	323,027	123,343	40,805	144,667
飼養規模別	1~10頭未満	3	1,305,401	282,479	242,269	40,210	429,332	277,283	67,165	249,142
	10~20頭	3	1,125,777	269,026	240,265	28,760	368,655	249,383	34,478	204,235
	20~30頭	2	1,077,803	288,628	247,253	41,375	360,307	203,448	57,913	167,508
	30~50頭	6	1,052,565	272,537	226,909	45,628	389,790	140,550	62,965	186,724
	50~100頭	5	935,123	247,461	218,018	29,443	374,638	150,321	36,976	125,727
	100頭以上	5	822,439	240,809	227,106	13,704	344,792	83,166	36,451	117,221

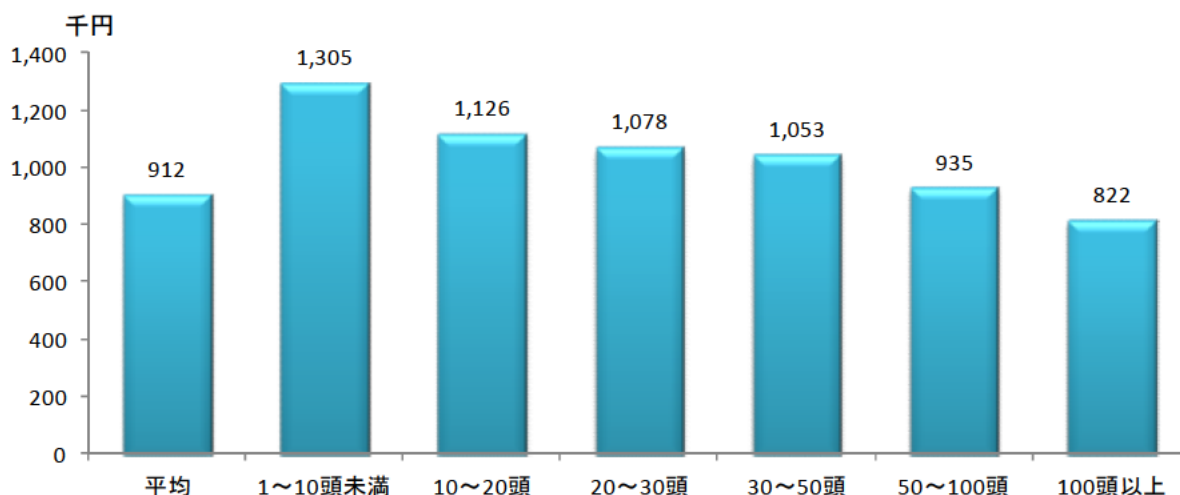
注1：飼養規模は肥育牛の飼養頭数による。

注2：生産費は、支払利子及び支払地代を含み、副産物価額を差引く。

注3：飼料費には配合飼料価格安定制度の補填金は含まない。

注4：その他は光熱動力費、その他諸材料費、獣医師及び医薬品費、賃借料及び料金、物件税及び公課諸負担、小農機具費、生産管理費、修繕費、支払利子、支払地代、副産物価額。

図5 日本短角種の規模別にみた肥育牛生産費（1頭当たり）



② 1頭当たり所得

肥育牛についても、平成28年度肥育生産費及び肥育牛販売価格から1頭当たり所得を算出した。

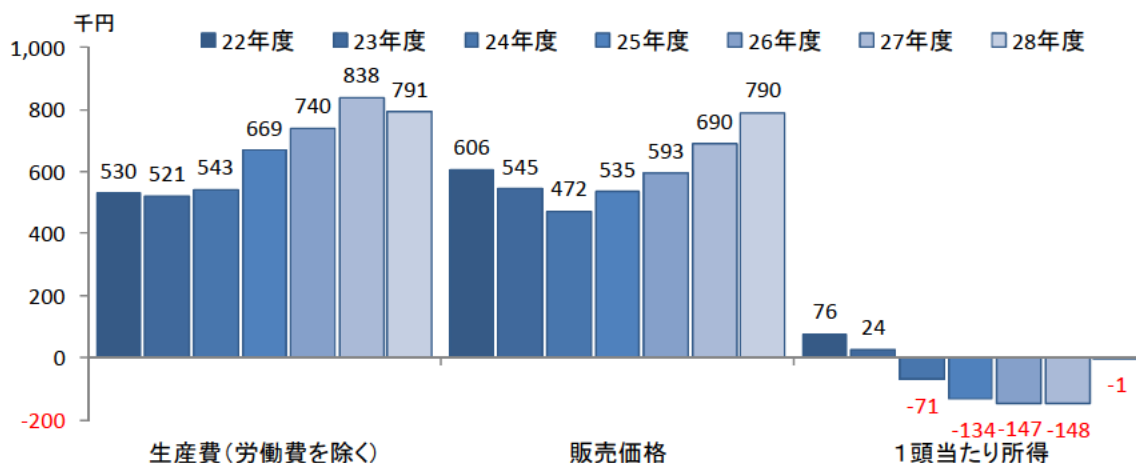
1頭当たり所得は、▲1,338円（前年度▲148,014円）となっており、マイナスではあるものの前年度と比べて大幅に改善した。これは、主にもと畜費の減少が生産費を押し下げ、さらに、販売価格が上昇したことによるものである。

過去の推移をみると、特に平成25年度以降、子牛価格の高騰による生産費の増加が肥育牛の販売価格を上回っていることから収益性は悪化している（図6）。

平成28年度の1頭当たりの所得は、▲1,338＝789,952円－（912,179円－120,889円）

注：1頭当たり所得は、粗収益（肥育牛販売価格）－（生産費－労働費）により算出

図6 肥育牛の生産費、販売価格の推移





日本短角種の夏山冬里方式による放牧風景